

クリーンピア英粒

1999. 3

Vol. 4 号

目次

管理者就任あいさつ 1
平成9年度決算のあらまし 3
ごみ、し尿の搬入量 4～5

ごみ処理施設の公害防止対策について 6
施設紹介 7
お知らせ 8



粗大ごみ・もやせないごみを処理している
粗大ごみ処理施設

もやせないごみの状況

管理者あいさつ



土田 正 剛

昨年九月に東根市長に就任と同時に処理組合の管理者に就任いたしました。

私自身、今までの議員活動等の中から、廃棄物処理行政について一定の理解をしていたところでありましたが、管理者として直接担当するようになり、その業務内容が広範多岐に亘っており、かつ一日でも疎かにできないものと再認識をしたところであります。

幸いにして廃棄物行政に精通し造詣の深い副管理者の方々がおられますことは、大変心強い限りであります。

現在当組合に搬入されるごみの量は年々増加の一途をたどっております。更にそのごみ質も多様化している現状であります。これらの処理をするための施設の整備、改造、そして最終的に処分する処分場の確保等、現在進行中の事業も含めて、計画的に事務事業を遂行する考えであります。又、極力経費の削減に努め効率的な組合運営を図ってまいります。

更には現在搬入されているごみの中から再利用できるものは極力リサイクル品として再生し、焼却するごみの減量化に努めております。然しながらごみの減量化については処理組合だけでは限度があり、住民各位の理解と協力が不可欠であり、住民と行政が一体となり取り組まなければならない最重要課題と考えているところであります。

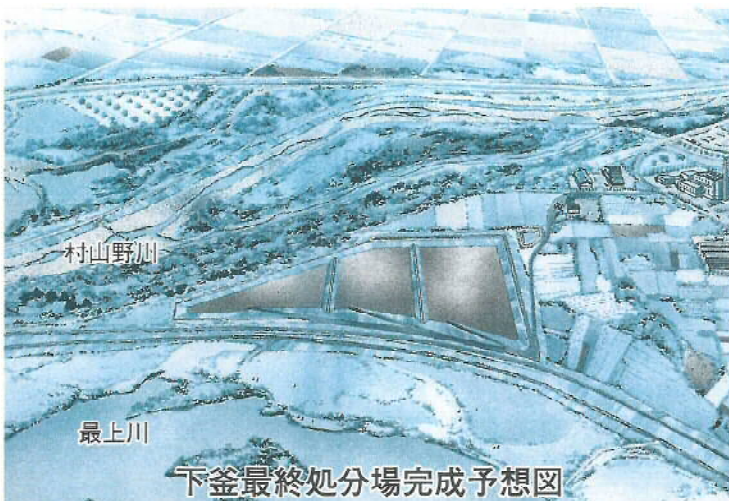
国の施策として、廃棄物処理行政の根幹をなす関係法令が改正され逐次施行され、直接住民と接する行政の責任者として、その対策に苦慮しているところですが、遵法精神に則り、住民の皆様が安心して安全に安定した日常生活が営めることを念頭におき最大限の努力をしていく考えであります。

昨今、廃棄物処理行政を取り巻く社会情勢が極めて厳しくなっていることを十分認識し、循環型社会の構築の一翼を担う当組合としても、現在の事務事業に更に検討を加えさらなる成果を上げるよう自助努力を惜しむことなく推進していき、自然環境との共生を図りながら、適正な廃棄物処理行政を三市一町一致協力し推し進めてまいりますので、今後共に住民各位の更なるご理解とご協力をお願いいたしまして、管理者としてのあいさついたします。

下釜最終処分場着工

平成十一年度末に満杯になる原の内最終処分場（河北町原の内）に変わる最終処分場（埋立地）として、クリーンピア共立付近の、村山野川と上川の合流点の三角地帯に平成十年八月に着工しました。この最終処分場は、周辺の自然環境に配慮した施設として、平成十年～平成十一年の二カ年事業として建設されます。最新の公害防止技術を駆使した設備で

あり一例を上げれば、浸出水（埋立地に浸透して出てくる汚水の地下浸透による地下水汚染を防ぐため、二重シートの破れた箇所を検知するシステムの採用、また浸出水の処理方法として最終処分場で前処理を行い既存のし尿処理施設で最終処理する全国で初の方式を採用しました。この方式の採用により建設コストの低減及び施設の有効利用が図られます。



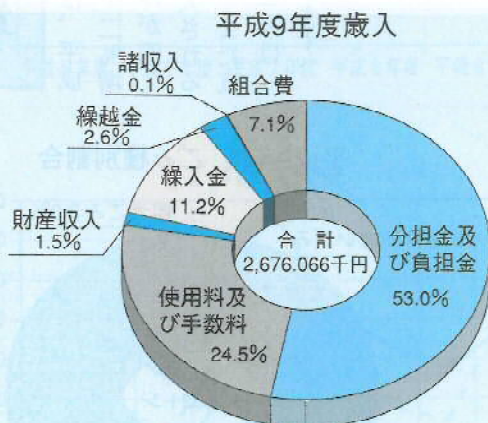
下釜最終処分場完成予想図



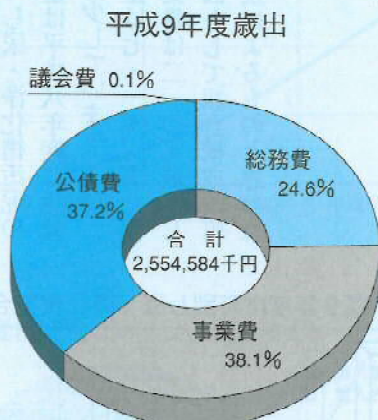
クリーンピア共立

一般会計決算（平成9年度）あらまし

平成9年度（平成9年4月～平成10年3月）一般会計決算状況についてお知らせします。歳入については、26億7千6百万円、歳出については、25億5千5百万円。差引額が、1億2千1百万円の黒字決算となりました。



平成9年度の歳入は全体で、前年度に比較して44.9%増加しています。主なものとして償還交付税が起債の償還金増加に伴い52.8%と大幅に増加しています。また新最終処分場用地の購入費の財源として県、国より組合債として1億9千40万円を借り入れ、また繰入金として施設整備基金より2億9千8百53万円を繰り入れしています。



平成9年度の歳出は全体で、前年度に比較して44.9%増加しています。主なものとして、新最終処分場用地の購入に伴って総務費が186.5%増加しています。また平成6年度に完成しましたごみ焼却処理施設及び粗大ごみ処理施設の平成6年度借り入れした起債の元金の償還が平成9年度から始まったことから、公債費が48.5%増加しています。

歳入		単位：千円
区分	収入済額	
市町負担金	906,808	
償還交付税	511,292	
使用料及び手数料	656,249	
財産収入	41,046	
繰入金	298,539	
繰越金	69,546	
諸収入	2,186	
組合債	190,400	
歳入合計	2,676,066	

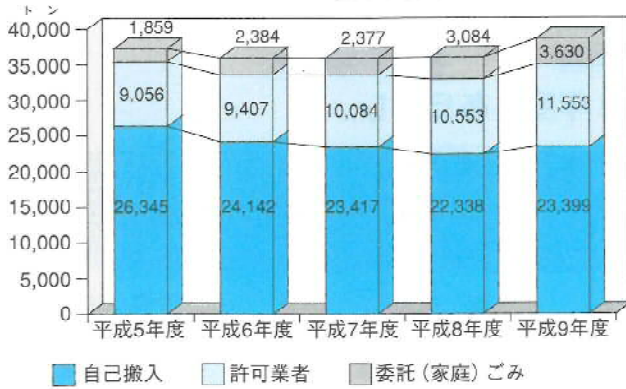
市町負担金内訳		単位：千円
区分	収入済額	
東根市	250,052	
村山市	158,968	
天童市	370,604	
河北町	127,184	
合計	906,808	

手数料内訳		単位：千円
区分	収入済額	
し尿処理手数料	395,396	
ごみ処理手数料	150,826	
動物処理手数料	944	
ごみ証紙(袋)収入	106,248	
粗大ごみ証紙収入	2,835	
合計	656,249	

歳出		単位：千円
区分	支出済額	
議会費	2,224	
総務費	627,000	
事業費	974,100	
公債費	951,260	
合計	2,554,584	

事業費内訳		単位：千円
区分	支出済額	
し尿処理費	194,952	
し尿収集費	257,908	
可燃ごみ処理費	253,760	
不燃ごみ処理費	145,104	
ごみ収集費	122,376	
合計	974,100	

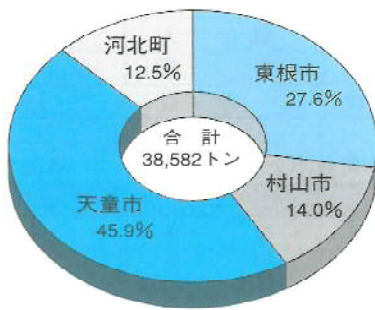
ごみ搬入状況



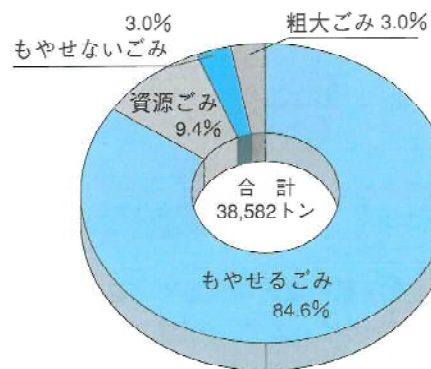
ごみ処理量

平成九年度のごみ処理量は、平成八年度に比較して全体で七・二%増加しています。家庭系ごみが四・〇%、会社・商店等から搬入される事業系ごみが九・八%増加、また直接持ち込まれる自己搬入ごみは一七・七%と大幅に増加しています。

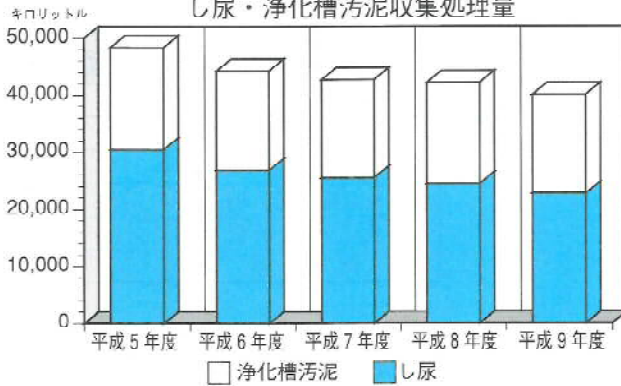
平成9年度 市町別割合



平成9年度 ごみ種別割合



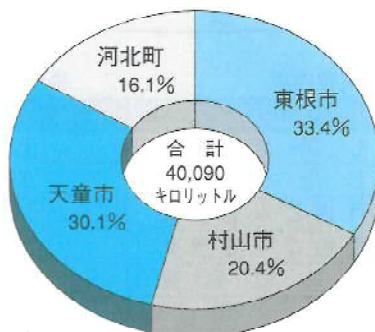
し尿・浄化槽汚泥収集処理量



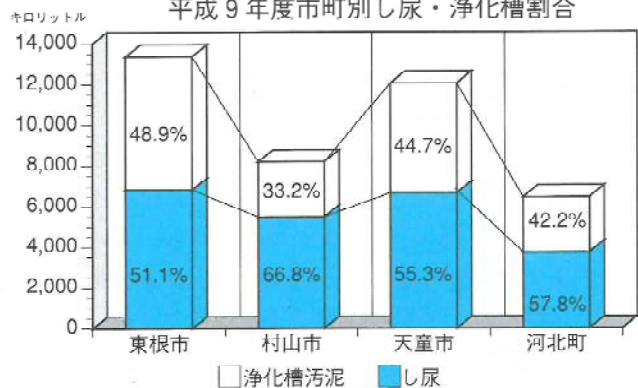
し尿・浄化槽汚泥の収集量

平成九年度のし尿・浄化槽汚泥の合計した収集量は平成八年度に比較して四・九%減少しています。し尿の収集量は七・一%、また浄化槽汚泥の収集量は二・〇%減少しています。要因として組合構成市町の下水道の普及によるものと思われます。

平成9年度 市町別割合



平成9年度市町別し尿・浄化槽割合



ごみ搬入状況

ごみの搬入量は、平成五年度までは増加の一途をたどっていました。

平成六年度に新しいごみ焼却処理施設と粗大ごみ処理施設が完成するのを機会に資源回収量のアップと、埋立量の減少を図るため今までの三種分別（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ）からごみ処理施設に合わせた四種分別（もやせるごみ・もやせないごみ・資源ごみ・粗大ごみ）に変

更した結果、住民の皆さんの協力で減少しました。さらに、住民の皆さんに、ごみ処理に対するコスト意識を持つてもらい、ごみの出す量に合った負担（負担の公平化）、リサイクルを進めるため、平成七年七月から指定袋によるごみ有料化、及び申込み制による粗大ごみ戸別有料収集を導入しました。平成八年度は、ほぼ横ばいの状態でありましたが、平成九年度に入り七・二％と大幅に増加しました。増加の要因として、平成九年度に入り段ボール・新聞・雑誌等の古紙類が価格の低下により資源として回収されずごみとして出され

る量が多くなったこと、またごみの焼却に伴って発生するダイオキシン等の公害問題から自家焼却する家庭の減少、及びごみ有料化から三年が経過し、ごみ減量意識の低下も大きな要因の一つと思われます。平成十年度は前年度の同期との比較で約十三％と前年度以上に増加しています。ここで、あらためてごみ減量に対する意識を高めてもらい、ごみ減量にご協力下さい。

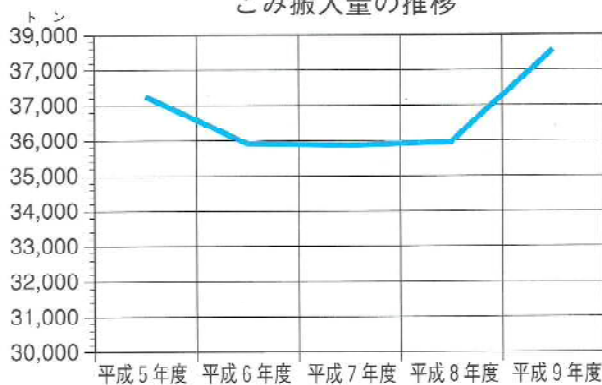
ごみ直接持ち込みについて

平成六年度以降、クリーンピア共立に直接持ち込まれるごみ搬入台数は増加の一途をたどっています。

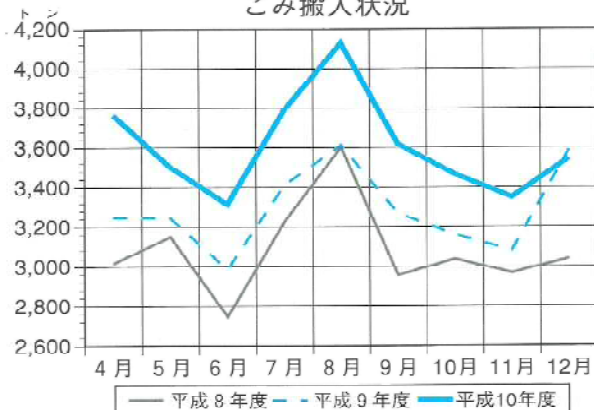
平成六年度と平成九年度を比較してみると約一・三倍増加しており、ごみ計量機の受付能力を大幅に上まわっており、その結果受付から終了まで時間がかかりすぎる状態が続いており、また付近の道路は渋滞のため一般の通行車両に大変なご迷惑をかけております。

ごみの直接の持ち込みは、引越等で一時的に多量に出る場合、及び緊急を要する場合を除いては出来る限りごみステーションを利用して下さい。

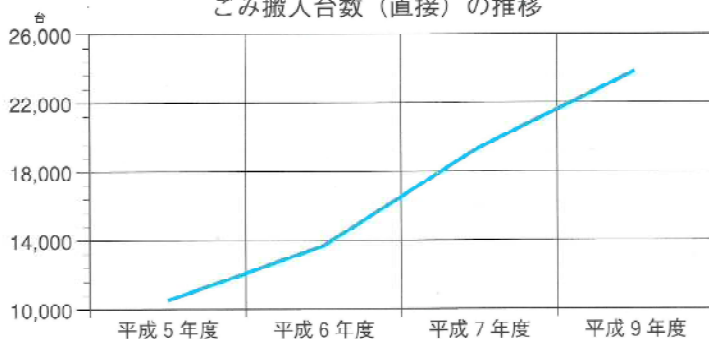
ごみ搬入量の推移



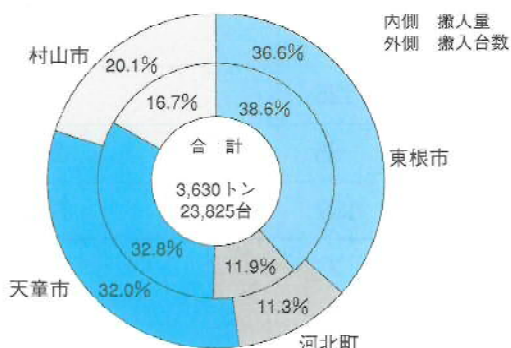
ごみ搬入状況



ごみ搬入台数（直接）の推移



平成9年度市町別ごみ（自己）搬入状況



ごみ焼却施設の公害防止対策について

クリーンピア共立の公害防止対策と測定結果についてお知らせします。

ごみ焼却処理施設では、下記のことに注意して運転管理しています。

- ・ごみを高い温度（850℃以上）で焼却しています。
- ・排ガス（煙）の中の一酸化炭素、酸素濃度を常時監視して完全燃焼に努めています。
- ・ろ過式集じん機（200℃以下で運転）を採用しダイオキシン類の発生を抑制しています。

※排ガス（煙）温度300℃前後で、ダイオキシンが集じん機内で生成しやすい。

1.ダイオキシンの測定結果

排出基準 測定値 測定年月	測定値	排出基準	
		平成10年12月1日 ～ 平成14年11月30日	平成14年12月1日 ～
平成7年3月	0.46 (ng/Nm ³)	80 (ng/Nm ³)	5 (ng/Nm ³)
平成9年3月	0.35 (ng/Nm ³)		
平成10年2月	0.14 (ng/Nm ³)		

※ ng（ナノグラム）：10億分の1グラム

Nm³（ノルマルm³）：0℃、1気圧に換算した排ガス量

測定値は、焼却炉3炉の平均値です。

平成9年12月1日より年1回測定が義務づけられています。

2.排ガス（煙）の測定結果

焼却施設では、排ガス（煙）の自動測定器で、ばいじん、塩化水素、窒素酸化物、いおう酸化物、一酸化炭素、酸素の濃度を常時、測定記録しており公害発生の防止に努めています。

なお、下記の測定結果については、公害関係の測定会社に委託して測定した結果です。

（平成10年11月測定）

測定項目	単位	測定値	排出基準
ばいじん濃度	g/Nm ³	0.005	0.50
塩化水素濃度	mg/Nm ³	125	700
窒素酸化物濃度	ppm	66	250
いおう酸化物量	Nm ³ /時間	0.87	77.2

※ PPM：100万分の1グラム

測定値は、焼却炉3炉の平均値です。

排ガス（煙）の測定を年に2回実施しています。

施設紹介



【防爆用蒸気ボイラ】

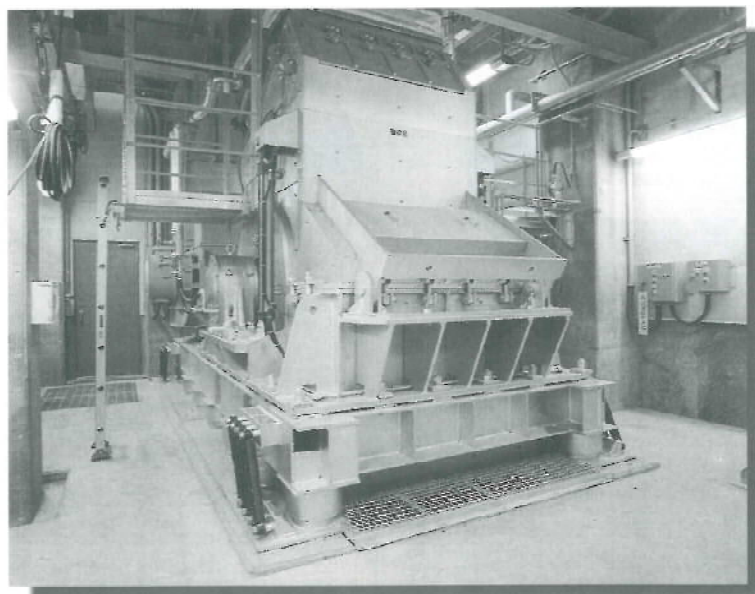
蒸気を破砕機内に注入して酸素濃度を下げ、万一のガス爆発を防ぎます。

粗大ごみ処理施設は、平成四年度より三ヵ年事業として、約十五億円の巨費を投じて建設され平成七年二月に完成しました。平成六年度まで最終処分場（埋立地）に直接埋立しておりました粗大ごみともやせないごみを処理しています。

ごみの処理方法は、砕くことができない堅い物や、爆発や引火性の物を取り除いた粗大ごみともやせないごみを回転式破砕機の強力なハンマーにより十五cm以下の大きさに碎きます。その碎いたごみを機械で鉄・アルミ・可燃物・不燃物の四種類に選別します。選別の方法は碎かれたごみをベルトコンベヤで運び、最初に磁石で鉄を回収します。次に振動するふるいにかけて細かいごみを不燃物として取り除きます。最後にアルミニウムと可燃物に分けるわけですが、アルミニウムを分ける機械の中で、磁石の反発力でアルミニウムを飛ばして回収します。残ったごみは可燃物になります。資源価値の高い鉄とアルミニウムは回収して業者に売却し、針金やアルミサッシ等によりサイクルされます。可燃物は、ごみ焼却処理施設に運んで焼却しています。また不燃物は最終処分場（埋立地）に埋立します。しかし、この不燃物は非常に細かいごみで最終処分場の延命につながっています。

この粗大ごみ処理施設の心臓部である破砕機は、爆発を防ぐ対策として、ボイラーで蒸気を発生させ、破砕機内に吹き込み内部の酸素濃度を十％（空気中の酸素濃度

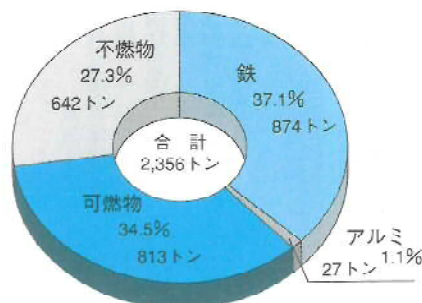
通常二十一％）以下に抑えて、万一の爆発を防ぐ構造になっていますが、完全に防ぐことはできません。住民の皆様にごみの分け方・出し方をより一層守っていただく事により、ごみ処理の効率アップと安全につながりますのでご協力をお願いします。



【回転式破砕機】

回転式の破砕機で強力なハンマーによるせん断、すりつぶし効果で軟質物から金属製品まで、粒度選別に適した大きさに破砕します。

平成9年度 粗大ごみ処理施設処理内訳



手数料改正のお知らせ

クリーンピア共立では、各施設の効率的

運転管理により維持管理費の抑制を図って
きましたが、ごみ焼却処理施設及び粗大ご
み処理施設が運転開始から四年が経過し、
修理費等の維持管理費が増加しています。

また、し尿収集処理においては、収集効
率の低下と維持管理費の増加に伴い、処理
手数料を平成十一年四月一日から左記のよ
うに改正されます。

種 類	基準処理量	現行料金	改正後の料金
直接搬入する家庭ごみ	10kg(10リットル)ごとに	100円	110円
直接搬入する事業ごみ	10kg(10リットル)ごとに	100円	110円
し 尿	36リットルごとに	350円	390円
浄化槽汚泥	36リットルごとに	350円	390円

仮設使用の加算料金

現行の料金 1,500円 → 改正後の料金 1,800円

資源回収状況

① 資源ごみ

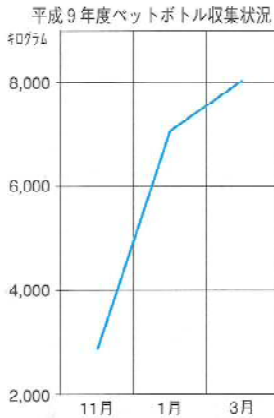
平成九年度より施行されました容器包装
リサイクル法により、今まで資源ごみの中
から回収していなかった茶色のびん、その
他の色のびんも回収を開始したこと、から、
びん類の回収量が、平成八年度に比較して
約一・八倍増進しております。また資源回
収率も平成八年度の四十三・三％から平成九
年度は五十六・％と大幅に向上しています。

② 粗大ごみ・もやせないごみ

粗大ごみ・もやせないごみは、機械で細
かく砕き鉄、アルミを資源として回収して
います。平成九年度で約二十八％の資源回
収率となっています。

③ ペットボトル

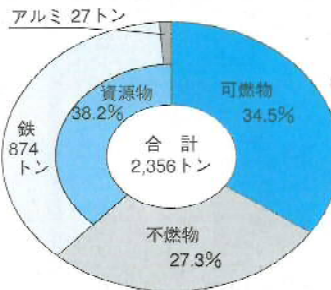
ペットボトルは平成九年十一月より県内
の市町村に先がけて、収集を始まりました。
初回の十一月は広報不足もあり収集量が見
込みより下回りましたが、一月、三月につ
いては、収集量が順調に増加しています。



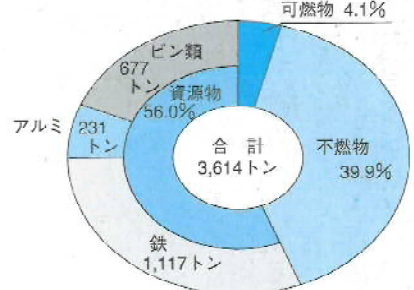
ごみを出す際のお願い

平成十年十二月に、粗大ごみともやせない
ごみを処理しています粗大ごみ処理施設で爆
発事故が発生しました。幸いにも、人身に被
害はなく、また機械も軽微な損害で済みまし
た。また事故原因は特定されていますが、
未使用のカセットコンロ用のボンベが機械内

平成9年度 資源回収状況
(粗大・もやせないごみ)



平成9年度 資源回収状況
(資源ごみ)



で砕かれた際に爆発したものと推定されます。
処理にあたっては、細心の注意を払って運
転していますが、完全に取除くことができ
ません。ごみとして出す場合は、スプレー
缶・カセットコンロ用ボンベは使い切ったか
ら、市販されている穴あけ器等で穴をあけ、
ガス抜きをしてから出して下さるようお願い
します。

● スプレー缶・カセットコンロ用ボン
ベは、穴をあけて資源ごみとして出し
て下さい。



お知らせ

クリーンピア共立では、住民の皆
様から組合業務を広く理解してもら
おうと、随時施設の見学を受付して
います。

問い合わせ先

- 東根市市民福祉部生活環境課 四二一―
- 生活環境係
- 村山市保健課 五五二―
- 環境係
- 天童市市民部生活環境課 六五四―
- 環境衛生係
- 河北町環境防災課 七三二―
- 生活環境係
- 東根市外二市一町共立衛生処理組合 (クリーンピア共立) 〇二二七―四七―一三二―
- 企画財政係

編集・発行

山形県東根市大字野田字シタノ038
東根市外二市一町共立衛生組合

TEL 0237 (47) 13321

印刷

(南昭報社印刷)



再生紙使用 (古紙混入率40%)